



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 魚喜

上場取引所 東

コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 有吉 喜文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西山 武

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	6,431	2.8	95		96		150	
29年2月期第2四半期	6,616	1.0	34		37		61	

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 155百万円 (%) 29年2月期第2四半期 59百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	59.00	
29年2月期第2四半期	23.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	2,609	340	13.0	133.27
29年2月期	2,425	495	20.4	194.15

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 340百万円 29年2月期 495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	2.2	50	545.5	70	528.0	20		7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	2,555,856 株	29年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	2,061 株	29年2月期	2,061 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	2,553,795 株	29年2月期2Q	2,553,795 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題、米国新政権の施策動向や朝鮮半島・中東地域における情勢不安など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いております。他方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて、世界的規模の需要増により魚介類の仕入価格は依然として高騰傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、商品開発をはじめとする新しい商品MDの導入や売場の改善による既存店の強化を実施するとともに、利益確保が見込める優良物件への新規出店（鮮魚1店舗）及び不採算店舗の撤退（鮮魚1店舗）をいたしました。また、仕入効率化による原価率の低減、従業員1人当りの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の見直しを積極的に推進いたしました。

3月、4月は当初の見込み通りに売上、利益が推移いたしましたが、5月のアニサキスによる食中毒の報道以降、売上が大幅に落ち込み、未だにその影響が続いております。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社の売上高は64億31百万円（前年同四半期比2.8%減）、売上総利益は26億27百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業損失は95百万円（前年同四半期は34百万円の営業損失）、経常損失は96百万円（前年同四半期は37百万円経常損失）、さらに非連結子会社の株式会社うおやの閉鎖に伴う損失を計上したことも加わり、親会社株主に帰属する四半期純損失は150百万円（前年同四半期は61百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、57億59百万円（前年同四半期比3.8%減）となり、セグメント利益は、1億40百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。

(飲食事業)

飲食事業の売上高は、4億96百万円（前年同四半期比0.0%減）となり、セグメント利益は、19百万円（前年同四半期比40.5%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上高は、1億98百万円（前年同四半期比31.3%増）となり、セグメント利益は、17百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加し、26億9百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加して15億89百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ9百万円増加して10億20百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加し、22億68百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ4億57百万円増加して16億69百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少して5億99百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少し、3億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成29年10月11日に第2四半期の連結業績予想を修正しましたが、通期の連結業績予想につきましては、水産小売業界においては、例年、年末商戦の販売動向が大きく業績に影響を与え、現在これの見直しを行うことが困難であることから、平成29年4月14日の決算短信で公表いたしました予想内容に変更はありません。

今後、業績が見通せる状況になり次第お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,999	691,791
売掛金	512,302	590,194
商品	139,415	152,086
貯蔵品	12,716	12,348
繰延税金資産	25	11
その他	156,345	142,643
流動資産合計	1,414,804	1,589,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	679,029	689,650
減価償却累計額	△469,553	△485,491
建物及び構築物（純額）	209,476	204,159
工具、器具及び備品	847,919	869,030
減価償却累計額	△639,524	△656,254
工具、器具及び備品（純額）	208,395	212,776
土地	389	389
リース資産	32,577	32,577
減価償却累計額	△22,571	△25,829
リース資産（純額）	10,006	6,748
有形固定資産合計	428,267	424,073
無形固定資産		
リース資産	1,323	473
ソフトウェア仮勘定	12,000	22,775
その他	32,683	30,654
無形固定資産合計	46,006	53,903
投資その他の資産		
投資有価証券	101,591	84,648
敷金及び保証金	397,141	406,311
その他	37,393	51,292
投資その他の資産合計	536,126	542,252
固定資産合計	1,010,400	1,020,229
資産合計	2,425,204	2,609,304

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	444,589	543,993
短期借入金	140,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	223,340	223,340
リース債務	7,489	4,857
未払金	219,760	304,522
未払法人税等	12,244	28,283
賞与引当金	27,397	26,494
関係会社支援損失引当金	—	19,000
資産除去債務	48	121
その他	137,192	169,216
流動負債合計	1,212,062	1,669,828
固定負債		
長期借入金	570,550	458,880
リース債務	5,484	3,439
長期預り保証金	84,216	82,216
繰延税金負債	11,686	9,560
資産除去債務	43,923	43,951
負ののれん	1,454	1,091
固定負債合計	717,315	599,139
負債合計	1,929,377	2,268,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,494,880	△1,645,564
自己株式	△5,456	△5,456
株主資本合計	469,710	319,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,116	21,310
その他の包括利益累計額合計	26,116	21,310
純資産合計	495,826	340,336
負債純資産合計	2,425,204	2,609,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	6,616,230	6,431,444
売上原価	3,928,068	3,804,182
売上総利益	2,688,162	2,627,262
販売費及び一般管理費	2,722,575	2,722,424
営業損失(△)	△34,413	△95,162
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1,449	1,349
受取手数料	1,532	1,990
負ののれん償却額	363	363
その他	1,504	1,158
営業外収益合計	4,852	4,864
営業外費用		
支払利息	7,451	5,884
その他	98	158
営業外費用合計	7,549	6,042
経常損失(△)	△37,110	△96,341
特別利益		
固定資産受贈益	1,842	—
長期預り保証金精算益	10,443	—
その他	974	—
特別利益合計	13,260	—
特別損失		
固定資産除却損	16,408	9,296
店舗閉鎖損失	59	—
投資有価証券評価損	—	9,999
関係会社支援損失引当金繰入額	—	19,000
特別損失合計	16,467	38,296
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,318	△134,637
法人税、住民税及び事業税	15,545	16,023
法人税等調整額	5,231	24
法人税等合計	20,776	16,047
四半期純損失(△)	△61,094	△150,684
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,094	△150,684

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純損失(△)	△61,094	△150,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,037	△4,805
その他の包括利益合計	2,037	△4,805
四半期包括利益	△59,056	△155,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,056	△155,490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,984,098	496,638	135,494	6,616,230	—	6,616,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,690	15,690	△15,690	—
計	5,984,098	496,638	151,184	6,631,921	△15,690	6,616,230
セグメント利益	250,971	14,057	20,538	285,566	△319,979	△34,413

(注) 1. セグメント利益の調整額△319,979千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,009千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,759,329	496,414	175,700	6,431,444	—	6,431,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	22,798	22,798	△22,798	—
計	5,759,329	496,414	198,499	6,454,243	△22,798	6,431,444
セグメント利益	140,202	19,749	17,451	177,403	△272,566	△95,162

(注) 1. セグメント利益の調整額△272,566千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,566千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。